

感謝状贈呈式にて (2022年5月16日)

左から原田美江子 千代田保健所長、樋口高顕 千代田区長、安原洋 病院長、三尾昭弘 事務長

## World's Best Hospitals 2022 受賞



- 救急診療のスペシャリストが2名、赴任しました
- リワークセンターのご紹介
- 千代田区長から感謝状をいただきました/患者満足度調査(第35回)結果報告
- ネコ先生の『神楽坂通信』 Vol.14
- 新任医師紹介
- ナースステーション/人間ドックのすすめ



## 救急診療のスペシャリストが2名、 赴任しました

2022年4月より救急科に赴任しました西田昌道、横田茉莉と申します。

どうぞよろしくお願いたします。

救急科の主な仕事は、①救急外来での救急車搬送患者さんの診療、②近隣の先生方から紹介された救急患者さんの対応、③院内急変患者さんの対応、④千代田区など行政機関と災害訓練の計画・実行、⑤研修医の教育などです。

①については、われわれ指導医2名と研修医2-3名で救急車搬送患者さんを診療します。その際に最も気をつけていることは重大な病気を見逃さないようにすることです。

救急外来では患者さんの痛みや苦しみをよくすることも大事ですが、それに加えて、その症状を引き起こしている重大な病気を見逃さず、に然るべき専門医に引き継ぎ治療を継続することがより重要と考えています。そのために救急外来では一般外来と違って、採血や画像検査、点滴のために診察時間が長くなることをご理解いただければと思います。

②については、近隣の先生方から紹介される救急患者さんは夜間であっても可能な限り来ていただき診療をいたします。

③については、診察のために来院した患者さんや



家族、入院患者さんが急に具合が悪くなった時にその場に呼ばれて対応します。

④については、医師会・歯科医師会・区役所・保健所・消防などと一緒に災害に強い地域を構築するために災害合同訓練を実施します。

⑤については、当院は臨床研修指定病院であり、研修医が臨床医になるための基礎的な教育を行っています。

当院は東京都指定の2次救急医療機関であり、救急外来は24時間、365日、休みなくオープンしております。患者さんは急に熱が出たり、痛くなったり、苦しくなったり、ケガをしたりしたら、まず救急外来に連絡していただければと思います。



# リワークセンターのご紹介

当院精神科リワークセンターでは、メンタル疾患で病休・休職をしている方を対象に、職場復帰・再発予防を目的とした復職支援プログラムを行っています。

職場復帰には、規則正しい生活リズムの定着、体力・集中力・コミュニケーション能力などの回復が必要です。また、復職後、再び調子を崩さないように、再発予防のために必要な知識と対処法を習得する、休職に至った経緯の振り返りと整理をすることも大切です。一人だと焦りや不安で、行き詰まりがちですが、スタッフや仲間と共に復職に向けての準備を整えていきましょう。

自宅療養で体調は良くなったけれど体力的に心配、ひとりでは前向きに復帰を考えるのが難しい、復職意欲はあるものの働けるか自信がない、職場に勧められた、復帰しても再発しないか心配、などでお悩みの方はぜひリワークセンターにお問い合わせください。

## ■ご利用にあたって

### <開所日時>

月～水、金曜日 9:30～15:30

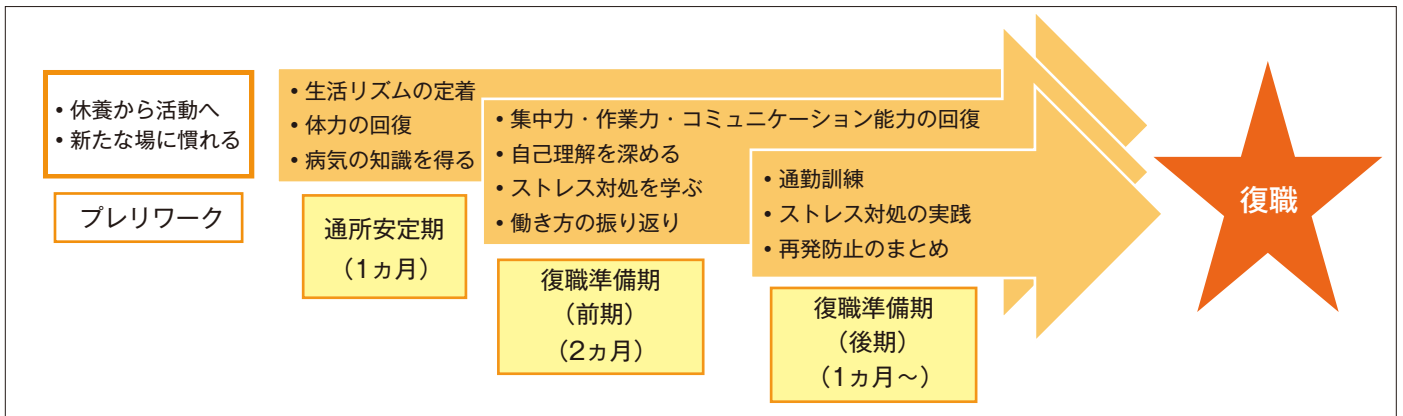
木曜日 9:30～12:30

※土・休祝日はお休みです

- 利用期間は4ヵ月からで、平均6ヵ月程度です。
- 自立支援医療費制度をご利用いただけます。
- 主治医の変更なく、リワークプログラムのみでの参加ができます。
- 集団プログラムは、小グループの固定メンバーで行います。
- プレリワークで、週数回から始めることもできます。



## ■リワークプログラムの流れ



## ■1日の流れ

9:30 日誌記入・朝の会  
10:00～ ラジオ体操  
10:10～ オフィスワーク  
12:00～ 昼休憩  
13:00～ 午後のプログラム  
15:00～ 振り返り・終わりの会  
15:30 終了

## ■お問い合わせ・申し込み・相談

電話 03-5214-7025 (リワークセンター直通)

月～金 15:30～17:00

※15:30 まではプログラム実施中のため十分に対応できない場合があります

リワークセンター見学・説明 (随時個別に対応いたします)

※オフィスワーク・プログラムの内容などはホームページをご覧ください。

<https://www.hospital.japanpost.jp/tokyo/>

「診療科のご案内→精神科→リワークセンターのご案内」





## 千代田区長から感謝状をいただきました

千代田区の樋口 高顕区長から、「新型コロナウイルスワクチン接種にあたり千代田区民への接種に協力し、地域社会への貢献に寄与した」として、感謝状が贈呈されました。

2022年5月16日に贈呈式が行われ、樋口区長から安原病院長に感謝状が手渡されました。

当院ではワクチン接種に留まらず、新型コロナウイルス発生当初から帰国者・接触者外来の開設や外来代理受診対応等を行ってきました。現在は『東京都新型コロナウイルス感染症入院重点医療機関』として、主に中等症の患者さんを受け入れています。職員一丸となって尽力してきたコロナ対応について、今回のような感謝状をいただけることは大きな励みになります。

当院は今後も地域に根差した医療機関として、地域の方や救急、紹介患者さんの健康を守り続けていくために、職員一同研鑽して参ります。



左から樋口区長、安原病院長



ワクチン接種会場

## 患者満足度調査（第35回）結果報告

当院では、ご利用者を対象に患者満足度調査（アンケート）を年1回実施しております。2022年1月の調査で35回を迎えました。外来は2日間、入院は5日間にわたり調査を行い、より多くの方にご回答いただきました。ご協力ありがとうございました。

アンケートの結果は、病院として真摯に受け止め、ご期待に沿えるよう病院運営に反映させていきたいと考えております。

### 測定方法

アンケートの質問ごとに、回答内容を「満足」=5点、「ほぼ満足」=4点、「ふつう」=3点、「やや不満」=2点、「不満」=1点として換算し、平均点を算出しました。

#### 【外来】

項目	平均
◆医師について	4.35
◆看護師について	4.32
◆その他スタッフについて	4.18
◆診療全般について	4.15
◆設備・施設について	3.98
◆ホームページについて	3.66
◆全体的なことに関して	4.59
<b>全平均（満足度）</b>	<b>4.19</b>

#### 【入院】

項目	平均
◆医師について	4.53
◆看護師について	4.59
◆その他スタッフについて	4.36
◆入院生活等について	3.94
◆設備・施設について	4.26
◆ホームページについて	3.84
◆全体的なことに関して	4.75
<b>全平均（満足度）</b>	<b>4.35</b>

※詳しい結果はホームページに掲載しています →





# ネコ先生の『神楽坂通信』 Vol.14



皆様こんにちは。暑い季節になりましたが体調はいかがでしょう。冷たいドリンクを飲んでも通常は食道に流れ、間違っても気管に入ることはありません。これは飲み込む機能がうまく働いているからです。今回はこの「嚥下機能」についてのお話です。

いつもは無意識に行なわれる嚥下ですが、色々な神経や筋肉の働きが繋がって、多くのステップを通して進んでいます。その過程のどこかに障害が生じると、嚥下機能の低下が起き、飲み物や食べ物が気管に入ってしまう。気道に異物が入っても少量であれば咳反射によってのど（咽頭）に押し返されます。しかし異物が声門を超えると「誤嚥」と呼ばれ、肺まで落ち込んでしまうと炎症が生じることがあります。これが誤嚥性肺炎です。これは我が国の死亡原因の6位になっていて、高齢化社会が進むにつれて増えていくこととなります。

摂食・嚥下のステップを順番に見て行きましょう。これは5つの過程に分けられていて、まず食物を認知して口に取り込む先行期、次に食物をかみ砕いて塊としてまとめる準備期、続いて食物塊を咽頭に送る口腔期、そして咽頭に運ばれた食塊を食道に送る咽頭期、最後に食道の動きによって胃へ送る食道期です。この中で特に精巧な部分が咽頭期です（下図）。嚥下するときには、軟口蓋が持ち上がって鼻腔への侵入を防ぎます。また喉頭蓋



蓋が気道に蓋をし、声門も締まることで誤嚥を防ぎます。そして筋肉が緩んで食道の入口が開き、食塊が食道に運ばれます。以上のことが瞬間に反射的に起きているのです。

これらのステップのどこかに障害が起きると嚥下がうまくできません。その原因は色々で、脳血管障害、体力低下、加齢、神経疾患、認知症などがあげられます。

では、嚥下障害の症状としてどのようなものがあるのでしょうか。

物が飲み込みにくい、食事にむせる、痰がからむことが多い、などがあります。嚥下障害の最初の検査として、まず唾液や少量の水、少量の食物を嚥下してもらい、のどの動きや咳・むせの有無を目で観察します。このテストで異常が認められた場合は、画像検査に進みます。これには、鼻腔から入れた内視鏡によって嚥下時の咽頭部を直接観察する方法とX線透視を用いて嚥下したバリウムの動きを観察する方法があります。

これらの検査によって嚥下障害と診断されたら、その程度、障害の部位に応じて訓練を行うことになります。内容としては、構音訓練、舌運動、冷圧刺激、頭部挙上、口すぼめ呼吸、などがあり基本的には嚥下にかかわる、のどの筋肉の強化が主体です。また誤嚥を防ぐ食べ方として、とろみをつけて飲み込みやすくする、うなずくようにして嚥下する、少量で一口ずつ飲み込む、姿勢を良くする、などがあります。さらに現在誤嚥がない方も、予防の意味で、運動で体力をつける、のどの筋肉を鍛える、発声練習・カラオケで呼吸の筋肉を鍛える、などを実践されることが良いでしょう。皆様の健康と摂食嚥下機能が維持されることを願います。



院長補佐兼  
消化器内科 部長  
**光井 洋**



## 新任医師紹介

2022年4月1日新任



救急科 部長  
にしだ まさみち  
**西田 昌道**

2022年4月より救急外来に赴任しました西田です。救急外来は24時間、365日、患者さんを受け入れております。急に痛くなった、苦しくなったなど具合が悪くなった時には連絡をしてください。どうぞよろしくお願ひいたします。



内科 医師  
みうら ひると  
**三浦 宏仁**

4月より内科医として勤務しております。患者さんに寄り添った丁寧な診療を心がけて参ります。どうぞよろしくお願ひ致します。



救急科 医長  
よこた まり  
**横田 茉莉**

4月より救急科に赴任いたしました。他科の先生方のご協力を仰ぎながら、救急診療に精進して参りたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。



神経内科 医師  
おおくぼ そうじろ  
**大久保 颯**

本年度より赴任いたしました大久保颯と申します。患者さんに寄り添った医療を実践できるよう、日々精進して参ります。よろしくお願ひいたします。



脳神経外科 医長  
ちくい えみこ  
**筑井 恵美子**

4月より、脳神経外科で診療させていただいております。患者さんに寄り添い、丁寧な安心していただける医療を心がけ、日々精進して参ります。どうぞ宜しくお願ひ致します。



神経内科 医師  
たむら たかゆき  
**田村 崇行**

4月より神経内科に赴任いたしました。神経疾患の専門的な診療をはじめとして、患者さんに寄り添った丁寧な診療を行ってまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。



内科 医師  
きよかわ ゆうすけ  
**清川 裕介**

2021年4月より内科に赴任いたしました。患者さんに「通信に来てよかった」と思っていただけの医療を目標に日々精進いたします。よろしくお願ひいたします。



消化器内科 医師  
てぜん ゆう  
**手銭 悠**

患者さんに寄り添った丁寧な対応を心掛け、消化器内科医として自分自身精進していくとともに地域の医療に少しでも貢献できるように頑張りたいと思ひます。



内科 医師  
しぶき みずほ  
**澁木 瑞穂**

4月より内科医として赴任致しました。患者さんに寄り添い丁寧な診療を心がけて参ります。どうぞ宜しくお願ひ致します。



消化器内科 医師  
はやし たけし  
**林 猛志**

1年ぶりに消化器内科として赴任いたしました。これまで以上に患者さんのお力になれるよう精進いたします。よろしくお願ひいたします。



内科 医師  
みやさか はな  
**宮坂 英**

4月から内科医として赴任致しました宮坂英と申します。患者さんに寄り添った医療を目指して精進して参ります。よろしくお願ひ致します。



外科 医師  
しかま たけし  
**鹿間 健志**

4月から外科に赴任しました。患者さんの心に寄り添うような丁寧な診療を心がけております。どうぞ宜しくお願ひいたします。







外科（乳腺） 医師  
よしの まほ  
**吉野 真穂**

4月より乳腺外科に赴任いたしました。  
患者さんお一人おひとりに寄り添った丁寧な診  
療を心がけてまいります。  
どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

皮膚科 医師  
みやざき みき  
**宮崎 美幾**

この度、皮膚科に赴任いたしました、宮崎と申  
します。  
患者さんに安心して治療していただけるように  
診療させていただきます。  
どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



整形外科 医師  
しみず ゆうき  
**清水 勇輝**

4月より整形外科に赴任いたしました。  
患者さんに寄り添いながらより良い医療を目指  
していきたいと思ひます。  
よろしくお願ひ申し上げます。



形成外科 医師  
いしい けんたろう  
**石井 健太郎**

4月より赴任致しました。  
患者さんに寄り添った診療、丁寧な手術を心が  
け日々精進して参ります。よろしくお願ひ申し  
上げます。



整形外科 医師  
はら みさこ  
**原 三咲子**

はじめまして。4月から整形外科に赴任になり  
ました。  
精一杯勤めさせていただきますのでよろしくお  
願ひ致します。



泌尿器科 医師  
ささき としや  
**佐々木 俊哉**

4月より泌尿器科で勤務しております、佐々木  
俊哉です。  
患者さんに寄り添った医療を心掛けて参ります  
。どうぞよろしくお願ひ致します。



小児科 医師  
しまだ かなえ  
**嶋田 香苗**

今まで主に小児循環器を勉強してきました。  
地域の小児医療に貢献できるように頑張りたい  
と思ひます。一年間よろしくお願ひします。

放射線科 医師  
ふじた りち  
**藤田 理知**

2022年4月より放射線科に赴任いたしました。  
患者さんに適切な医療を提供できるように他科  
の先生方と連携・協力していきたいと思ひます。  
どうぞよろしくお願ひ致します。

## 当院を退職しました

2022年3月31日退職

伊藤 正一（精神科部長）

荒木 一方（精神科医長）

中澤 聡子（小児科主任医長）

入江 学（小児科医長）

横島 弥栄子（緩和ケア内科医長）

阿部 巧（内科医師）

中島 英俊（内分泌・代謝内科医師）

金井 光（血液内科医師）

小林 敬（神経内科医師）

木村 友彦（神経内科医師）

安藤 智（循環器内科医師）

高久 由太郎（腎臓内科医師）

古谷 建吾（消化器内科医師）

内藤 恵里（消化器内科医師）

匹田 祐樹（消化器内科医師）

長谷川 智彦（外科医師）

大野 孝義（整形外科医師）

深谷 聡志（整形外科医師）

林 剛生（皮膚科医師）

松田 洋樹（皮膚科医師）

山口 華（形成外科医師）

矢島 愛治（泌尿器科医師）

加藤 真実（泌尿器科医師）

吉岡 恭平（放射線科医師）

原 貴敏（リハビリテーション科医師）



# ナースステーション

## 『貯筋』と『栄養管理』のすすめ

中央手術室 副看護師長 岡崎 大輔

「貯筋？貯金なら興味あるけど・・・」と思ってこの記事のスルーしようとしていませんか？今回はそのような方にも是非とも目を通して頂きたい内容です。ここ数年のコロナ禍において「最近運動不足だなあ」と感じていらっしゃる方が多いのではないかと思います。実は私もその一人ですが、その運動不足（細かく言うと骨格筋量の低下と栄養不良：不足と過剰）は手術後の回復にとっても影響すると言われています。そもそも手術を受けるということは心身に大きなストレスをかけますが、特に身体に物理的な侵襲を加えるために代謝機能などに大きな影響を与えます。そこで重要な考え方として注目されているのが術後回復促進策です。それは手術後になるべく早く回復するための準備を前もってしておこうという考えです。



具体的には手術前から筋肉を使った運動をしっかりと行い、バランスの良い栄養を摂ることを指します。現に手術前に明らかな骨格筋量の低下や栄養不良のある方が手術を受けると、そうでない方と比較して予後が不良であることが研究から分かっています。手術を受けるとどうしても患者さん本人が自覚している以上の体力を消耗します。特に年齢を重ねれば自然と回復も遅くなります。日頃から筋肉を動かして「貯筋」をし、バランスの取れた「栄養」を摂り、いつ手術を受けても大丈夫なように身体を整えておくことをお勧め致します。

## 人間ドックのすすめ

### 人間ドックセンター

1年に1回は健康チェック（電話03-5214-7055）



#### 男性 基本検査

身体測定	肝・胆道系	眼科
呼吸器系	消化器系	耳鼻科
循環器系	血液系	
腎・尿路系	炎症・その他	
代謝系		

料金 **45,100円**

追加でオプション検査もございます。



#### 女性 基本検査

身体測定	肝・胆道系	眼科
呼吸器系	消化器系	耳鼻科
循環器系	血液系	婦人科(子宮頸がん検診)
腎・尿路系	炎症・その他	外科系(乳房撮影+触診)
代謝系		

料金 **52,360円**

追加でオプション検査もございます。

## コロナ禍でも必要な健康管理を

新型コロナウイルス感染症の感染への懸念から、緊急事態宣言下では、集団で実施する各種健診を延期するように厚生労働省から通達がありました。ですが宣言解除後も、個人で人間ドックを申し込まれていた方の受診控えが続いてしまっており、がんリスクが高まっています。

国立がんセンターによると2020年にがんと診断された人は前年より約6万人減少したそうです。がんになる人が減ったからではなく、コロナ禍で検診や受診を控える人が増えたためと考えられています。2020年がん研有明病院



の乳がん手術症例の場合、検診で見つかることの多い早期のstage 0、stage 1はそれぞれ29%、16%低下し、自覚症状で見つかることの多いstage 3、stage 4は増加傾向とのことです。

米国では「検診をスキップすると遅れて乳がん死亡者数が増えるが、検診が半年遅れてしまっても検診を受ければ死亡者数は抑制できる」といった研究報告が出ています。

発見の遅れが命取りとなるがん検診はコロナ禍でも必要です。1年以上検査をしていない人は検査をして、みんな健康で笑顔で過ごしましょう！

